



119番通報についてのお願い

最近、本来の119番通報とは異なる使い方をしている人が増えています。限りある119番回線を、本当に必要としている人が使えるように適正な利用をお願いします。

これって119番で聞くことですか？

119番、消防です。火災ですか？救急ですか？

「救急車は必要ないけど、今日の〇〇科のやっている病院はどこですか」

「さっき消防車がサイレンを鳴らして走っていったけど、何かありました？」

「熱が出ているけど、なんていう病気かな」

119番への問い合わせはこんなにあります！

平成25年、消防本部通信指令室への119番通報は、2,276件でした。

そのうち、問い合わせや医療相談、いたずら通報等が615件（約27%）ありました。

休日や夜間に診察してくれる病院を探す時は、下記にお問い合わせください。

オペレーターが、24時間体制でご案内します。

「救急医療情報コントロールセンター」 ☎ 029 - 241 - 4199

インターネットで、休日夜間の病院や当番医を下記サイトからご覧いただけます。

茨城県救急医療情報システム <http://www.qq.pref.ibaraki.jp/>

とちぎ医療情報ネット <http://www.qq.pref.tochigi.lg.jp/>

テレホンサービスで火災や災害の出動状況を調べることができます。

「常陸大宮市消防本部火災発生等の問い合わせ」 ☎ 53 - 1151

水の事故を防ごう



子どもたちは夏休みに入りました。プールや海水浴場がにぎわう季節です。そこで気をつけたいのが水の事故です。一瞬の油断が重大な事故につながりますので、普段以上に気配り、目配りをして子どもたちを悲惨な水難事故から守りましょう。

《水難事故を防止するために》

1. 常に子どもを自分の視界に入れておくこと！

事故は、保護者がちょっと目を離れた際に多く発生しています。目を離さず、子どもだけの水遊びは禁止しましょう。

2. 通学路や自宅周辺の安全確認を！

川、堰、ため池等、危険な場所を把握し、危険と思われる場所を通る時には、注意するよう日頃から教えておきましょう。

3. プールや海では油断しない！

「悪ふざけ」は、やがてエスカレートして取り返しのつかない事故を招くことがあります。浮き輪を使っているからと安心せずに注意深く監視し、適宜休憩を取らせましょう。